

あいち農産物生産流通レポート

平成27年8月号

地域トピックス	
・「第2回いいともあいちフェア即売会in東三河」を開催！ （東三河農林水産事務所）	1
・Facebookで子育て世代とつながる稲沢バナナ園の取組 （尾張農林水産事務所）	2
東日本情報	
・大田市場で夏野菜の大産地がPRイベントを実施 （東京事務所）	3
西日本情報	
・平成26年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について （食育推進課）	5
フラワーページ	
・「第32回全国都市緑化あいちフェア」の開催について （建設部公園緑地課全国都市緑化フェア推進室）	6
青果	
・愛知産青果物の動向（名古屋・東京市場）	8
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し	9
花き	
・切花・鉢花の8月の見通し（県内市場）	21
輸出入	
・主要農林水産物の輸出入実績（2015年5月）	25
関連指数	26

今月、情報サロンはありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

「第2回いいともあいちフェア即売会in東三河」を開催！

平成27年6月20日(土)、21日(日)の2日間、JAあぐりパーク食彩村の特設会場(豊橋市)にて、いいともあいちネットワーク会員有志による「第2回いいともあいちフェア即売会in東三河」が開催されました。

昨年度に続き2回目の開催となり、県内各地からいいともあいちネットワーク30会員が出展し(内、初出展15会員) 味付けうずら卵、小麦新品種「きぬあかり」を使った乾麺、大アサリ焼きなど、愛知県産の農林水産物や加工品を販売しました。

ステージでは、食育推進ボランティアによる食育推進企画として、農村輝きネット・東三河が「地元野菜を使ったキムチの紹介、試食」を、コープあいちが「野菜〇×クイズ」を行い、子どもも大人も楽しみながら野菜に対する知識と関心を高めていました。

また、豊川市諏訪地区商店街のゆるキャラ「すわポン」とすわポンダンスの子供たちが踊りを披露するなど、会場を盛り上げ、幅広い世代の来場につながりました。

農政課は、東三河地域におけるいいともあいち運動の一環として、フェアの広報、準備等の開催支援を行い、当日はいいともあいち運動イメージソング「恋するレシピ」のCD配布や「いいともあいちサポーター」の募集を行い、運動の認知度向上を図りました。

会場は多数の来場者で賑わい、商品のこだわりについて会員が消費者に熱心にアピールしたり、消費者が商品の使い方を尋ねる姿が見られ、即売会ならではの交流がありました。

農政課は、今後も会員の自主活動を支援するとともに、会員と消費者との交流の場を作り、地産地消を推進していきます。



即売会の様子



地元野菜を使ったキムチの紹介



すわポンダンス

Facebook で子育て世代とつながる稲沢バナナ園の取組

尾張農林水産事務所

稲沢市で長年鉢花を生産してきた「東海グリーン」では、遊休施設となっていた温室を活用して5年前からバナナの栽培を行っています。平成26年度からは体験農園「稲沢バナナ園」をオープンし、親子を対象とした収穫体験会を月2回程度開催しています。

コンセプトは「食育」

現園主の就農と時を同じくして、長女が誕生したことが、新規作物にバナナを選んだ動機でした。健康的な無農薬の果物を食べ、収穫体験を通じて学ぶ、「食育」によって我が子を身心両面から育もうとする思いから、試行錯誤で子どもの喜ぶバナナの栽培に取り組み始めました。

沖縄から取り寄せた数本の苗木を株分けで徐々に増やしていき、今では150本以上が、650㎡の温室で所狭しとそびえ立っています。

Facebook による集客

収穫体験の参加者募集に威力を発揮したのは、「インターネット」、とりわけSNSの「Facebook」でした。

1回の開催で30組を定員としていますが、初回の参加は半分の14組でした。ところが、その後は自然と参加者が増えていきました。その訳は「Facebook」の仕組みにあります。

「Facebook」経由でイベントに申し込むと、その方の「参加予定のイベント」が、友達に伝わる仕組みになっています。また、参加者が自ら「Facebook」に、「今日はこんなイベントに参加して楽しんだ」と投稿してくれて、良い宣伝になります。SNSでつながっているのは、興味関心の近い層が多いので、「食育への意識の高い子育て世代」に効率的に情報が拡散していきました。

こうして、今では予約が殺到しており毎回キャンセル待ちが出ています。

なお、このように意識の高い層をつかむことができたのは、同じ小さい子どもを持つ親としての、園主の思いを伝える言葉の力によるところも大きいようです。情報の充実したホームページを見ると、それが良く分かります。

新しいビジネスモデルの展開へ

大人気のバナナ収穫体験ですが、リピーターが少なかったことから、新たに栽培体験を組み込んだオーナー制の参加者を募集したところ、これまでの収穫体験参加者から続々と申し込みがありました。

園主は、他にはない体験メニューを考案することで、顧客の定着と安定収入を見込めると考えており、規模拡大を目指して新しい発想を組み込んだビジネスモデルのありかたを模索しているところです。



広さ約 650㎡の温室



温室の中はまるで
ジャングル



収穫体験間近のバナナ

大田市場で夏野菜の大産地がPRイベントを実施

東京都中央卸売市場への平成26年における野菜の総入荷量は157万tで総販売金額は3,650億円でした。大田市場(大田区東海3)の野菜入荷割合は、全体の45.9%を占めていました(図1)。

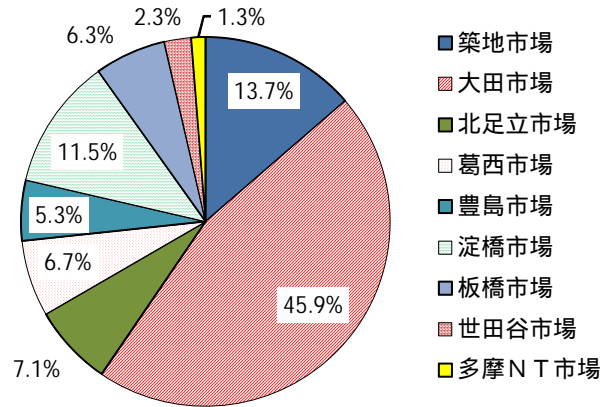
夏野菜といえば関東以北や高冷地の産地からの入荷が中心となります。夏野菜シーズンの幕開けとして群馬県のキャベツと長野県のハクサイ、レタス類(レタス、サニーレタスなど)のPRイベントが大田市場で行われましたので紹介します。

キャベツ

平成27年6月29日(月)にJA 孺恋村(群馬県吾妻郡孺恋村)の特産品であるキャベツの試食会が開催されました。下表のとおり、本県とほぼ同等の入荷量がありますが、主な入荷時期が異なります。入荷のピークは8月、9月で、この時期の市場占有率は8割近くになっていました。

6月5日から出荷が始まり、本格的な出荷が始まる前にせり人や仲卸業者など市場関係者にその美味しさや品質の良さをアピールしていました。生で食べてみたところ、甘くて食感もよいキャベツで、その良さは市場関係者にも十分に伝わったように思われました。

図1 東京都中央卸売市場の平成26年野菜入荷割合



JA 孺恋村キャベツの試食会

県名	占有率	入荷量(t)	対前年比	主な入荷時期													
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
愛知	25.1%	45,876	91.8%														
群馬	24.7%	45,133	100.6%														

主な入荷時期: 月販5千万円以上とした。

表1 東京都中央卸売市場における平成26年の愛知と群馬のキャベツ入荷実績と主な入荷時期

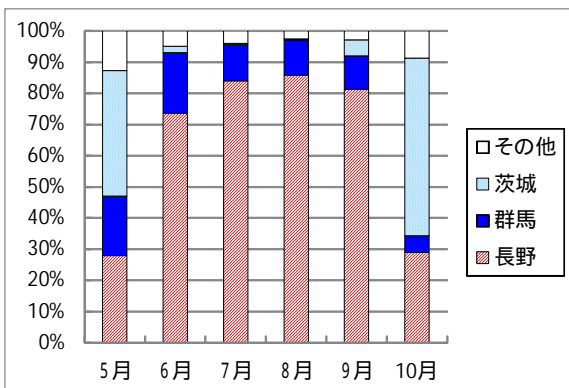
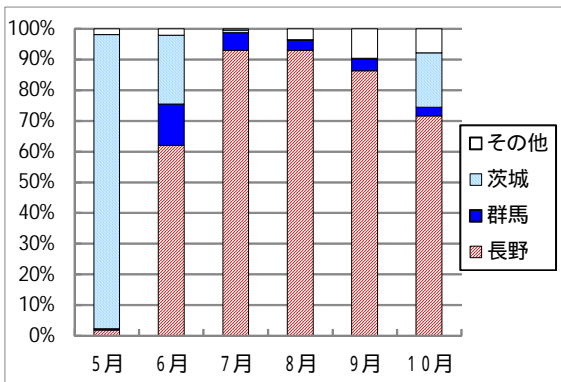
ハクサイ・レタス類



あいさつする藤原村長（川上村）



展示されたハクサイ、レタス、サニーレタス他



7月2日（木）に長野県南佐久地区野菜のトップセールスが開催されました。南佐久地区は2町4村あり、川上村の藤原忠彦村長、JA長野ハッ岳の由井和行組合長をはじめ、町村長やJA組合長など多くの産地関係者が来場されました。

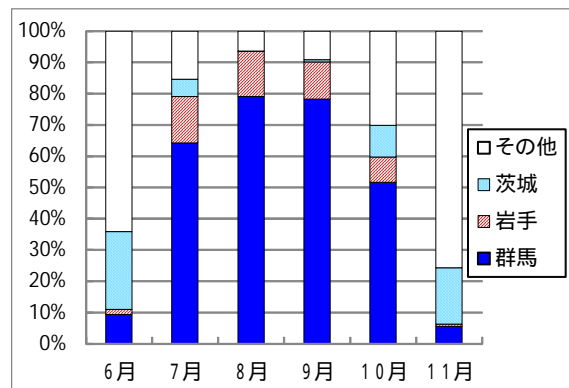
特設会場では、「レタスの塩昆布和え」や「ハクサイのオイスターソース炒め」が振る舞われ、大勢の市場関係者に美味しさをアピールしていました。

長野のレタス類は、6月上旬に低温、降霜があるなどの影響で生育は遅れ気味でしたが、7月中旬頃には量が出揃ってくるということでした。

東京都中央卸売市場の平成26年実績では、長野のレタス類は7月から9月までの市場占有率が8割を超えていました。またハクサイでは同時期に9割前後という非常に高い市場占有率でした。

こうした市場占有率の高い大産地が、入荷ピークを迎える前に市場関係者にその存在を示すことは、生産者側の意気込みが伝わるだけでなく、産地の切り替わり時期にメリハリをつける意味として、産地認知度の向上や販売力強化に大きく影響してくると思われます。

図は東京都中央卸売市場における平成26年の主要産地別入荷割合（左：ハクサイ、左下：レタス類、下：キャベツ）



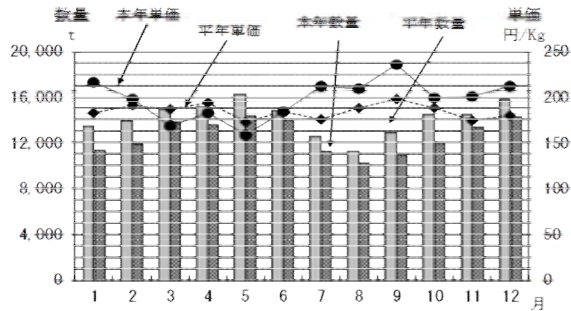
平成26年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について

1 青果物（野菜、果実）の取扱状況について

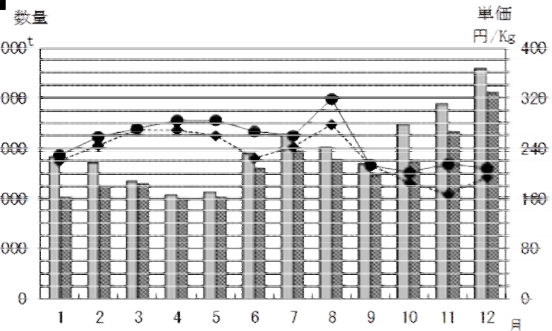
野菜では、夏期において、台風11号、12号をはじめとした大雨及び日照不足により、だいこん等の根菜類やほうれんそう等の葉菜類を中心として生育不良となり、入荷量に影響が出ました。また秋期でも、台風などの天候不順により、高冷地、特に東北や北海道からの入荷量は少なく、高値で推移しました。果実では、寒波の影響により、冬期におけるいちごの出荷が少ない状況でした。また特に甲信地方では、雪や低温により、ぶどうが深刻な被害を受けたため、夏期の出荷に影響が出ました。

なお、消費者の購買力は二極化しており、果実では、下級品の単価は下落する傾向となっています。全体として、取扱数量は平年をかなり下回り、単価はやや上回る結果となりました。

【野菜】



【果実】



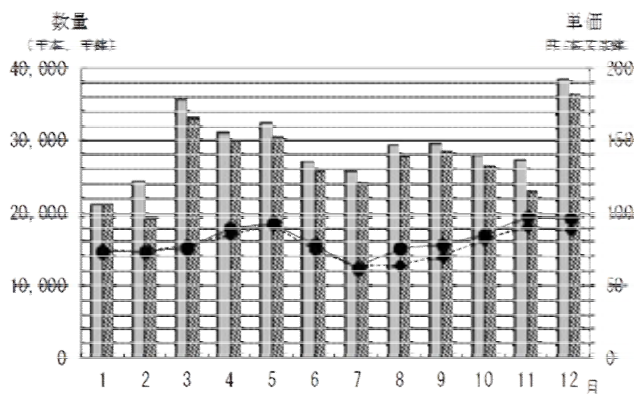
2 花きの取扱状況について

冬期は、燃油価格高騰の影響によりハウス物を中心に入荷量は少なく、価格は高値となりました。春期の需要期に入ると入荷量は増加し、安値となったが、寒暖の差が大きく、入荷は不安定な状況となりました。夏期では、7月の大雨や猛暑で小ギクの切花を中心に生育に悪影響が出たことなどにより、入荷量は平年を下回って推移しました。単価は、入荷量の減少に伴い、昨年より高値で推移しました。秋期は、気温は安定したものの、台風の影響による路地栽培の輪ギクを中心とした生育不良により、出荷量は平年を下回りました。

全体として、燃油高や、全体的な需要の減少もあり、入荷量は1月を除き平年を下回って推移しました。単価については、平年を上回って推移しました。

【花き】

【県内地方卸売市場における取扱実績】



品目	年次 (対比)	取扱数量 (トン、千本、千鉢)	取扱金額 (百万円)	単価 (円/kg、 円/本又は鉢)
青果	平年(21~25)	216,963	45,515	210
	26	192,016	42,526	221
	平年比	88.50%	93.40%	105.60%
花き	平年(21~25)	338,848	27,124	80
	26	323,219	26,794	83
	平年比	94.50%	98.80%	104.50%

「第32回全国都市緑化あいちフェア」の開催について



愛知万博(愛・地球博)開催から10周年にあたる本年、9月12日(土)から11月8日(日)までの58日間、その開催跡地である長久手市の愛・地球博記念公園をメイン会場に、花と緑あふれるイベント「第32回全国都市緑化あいちフェア」(愛称:花と緑の夢あいち2015)を開催します。

あいちフェアの魅力

「あいちの花」にこだわった会場づくり

愛知県は花き産出額が昭和37年以来52年連続して全国一を誇っています。あいちフェアでは、「花の王国あいち」を生かした展示で、あいちの花を十分にお楽しみいただくことができます。

メイン花壇である「花の棚田」は、「あいちの花百花繚乱」をコンセプトに、あいちの花100%で彩る大きな花壇です。花壇の主役となる花は期間中2回の植替えをするなど、期間を通してあいちの花の魅力を感じていただくとともに、「花の王国あいち」が誇る色とりどりの花々をお楽しみいただけます。

また、メイン会場となるモリコロパークの北口(愛・地球博記念公園駅(リニモ))で、お客様を迎えるのは「鏡の中の花畑」。鏡を使ったトリックで、前面の花壇を鏡に映し出すことにより、花畑が空まで続いているような空間を演出します。

鏡の前に立って写真を撮っていただくと、まるで一面に広がる花畑の中にいるような感覚の写真を撮影することができます。



花の棚田(イメージ図)



鏡の中の花畑(イメージ図)

愛知万博 10 周年

あいちフェアでは、愛知万博からの 10 年を踏まえ、「自然の叡智」というテーマや万博の成果が暮らしの中の緑にどう浸透したかを発信するとともに、花や緑のある暮らしの素晴らしさを実感・体感、体得することができます。

「鏡の中の花畑」から続く園路には 10 年前の愛知万博で展示されたバイオリングをイメージとした「緑化壁（垂直庭園）」と、愛知万博の思い出写真などで飾られた「デザインウォール」を展示します。緑化壁では、出展企業による個性あふれるデザインや様々な技術手法を見ていただくことができます。園路を歩きながら、愛知万博から広がる都市緑化技術の進歩やその魅力を感じることができます。

また、愛知万博の開催中大活躍したモリゾー・キッコロは、あいちフェアでも、多くの皆さんに花と緑についてもっと考えてもらうよう「緑化特別大使」に就任して活躍します。



緑化壁（垂直庭園）
（イメージ図）



デザインウォール
（イメージ図）



緑化特別大使
モリゾー・キッコロ

スタジオジブリとのコラボレーション企画が実現

「サツキとメイの家」の公開で愛知万博とゆかりの深いスタジオジブリと再びタイアップし、特別企画「ジブリの大博覧会」を開催します。

「風の谷のナウシカ」から最新作「思い出のマーニー」まで、スタジオジブリ 30 年の歴史を振り返る総合イベントです。全国初公開の展示が予定され、世代を問わず多くの方々に楽しんで頂けます。

第 32 回全国都市緑化あいちフェア「花と緑の夢あいち 2015」

会期：平成 27 年 9 月 12 日（土）～11 月 8 日（日）

メイン会場：愛・地球博記念公園（モリコロパーク）

サテライト会場：県内各所の公園・花の名所等 54 会場

入場料：無料（一部有料）

URL：<http://www.aichi-fair2015.jp/>

問合せ先：052-954-6635



愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	1,285	196 (15%)	804	765	長野 (65%) 山梨 (19%) 愛知 (15%)
27年見通し	1,200	180	800	780	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野、山梨を中心に入荷する。 生育状況は、平年より5日程度早く、前進出荷傾向である。また、作付に関しては良好である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>長野県はハウス巨峰からシャインマスカットにかわる生産者が増えている。 昨年と同様で、消費者は種なしで皮ごと食べられるものを好む傾向が続いているため、種なし、皮なしのニーズは確実に増えている模様。今後も一層の消費拡大を期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	386	177 (46%)	619	657	愛知 (46%) 和歌山 (33%) 静岡 (9%)
27年見通し	390	-	620	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウス物から露地物へ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、福岡などから入荷する。愛知の露地物は上旬から始まり盆明けにピークを迎える。和歌山は生育順調であり、露地物のピークは8月下旬から9月上旬となる。福岡は雨よけ栽培の物は上旬から、露地物は盆明けからの入荷となり、露地物は20日過ぎにピークを迎える。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産は、数量・品質ともに高く、量販店からも支持されている。商品の特性として傷みが出やすく、品質管理が特に重要であるため検品をしっかりとるとともに、等階級別選果の徹底に努めて欲しい。 生産者の高齢化等により生産規模が縮小傾向であるが、産地の維持・拡大をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	32,432	228	225	231	228	北海道 31%
	23年	33,421	202	209	203	200	長野 22%
	24年	32,547	185	178	189	192	群馬 11%
	25年	31,543	215	205	221	219	青森 5%
	26年	30,455	238	216	242	256	
	5ヵ年平均	32,080	214	-	-	-	
	27年見通し	30,300	226	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野が中心。地域によって、豪雨、曇天が続き生育が良くない。今後晴天が続けば、葉菜類等は回復すると思われるが、局地的な大雨もあり、入荷は不安定な状況と思われる。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	22年	1,634	105	84	108	122	北海道 56%
	23年	2,112	69	76	59	78	青森 33%
	24年	1,891	73	69	72	84	岐阜 10%
	25年	1,762	95	82	110	103	長野 1%
	26年	1,494	103	85	113	115	
	5ヵ年平均	1,779	87	79	90	99	
	27年見通し	1,600	93	80	90	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森、岐阜が中心。北海道は作付、生育も順調で、出荷量も見込める。しかし、青森、岐阜は作付面積の減少により少なめとなる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	22年	1,740	216	218	207	220	北海道 91%
	23年	2,006	130	131	129	133	青森 8%
	24年	2,119	92	95	90	95	中国 1%
	25年	1,802	151	149	161	147	
	26年	2,030	125	127	123	129	
	5ヵ年平均	1,939	140	141	139	142	
	27年見通し	1,950	130	130	130	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道が中心。他、青森も出始める。干ばつと低温の影響により遅れがちではあるが、気温上昇により回復傾向になる。8月下旬から9月上旬にかけて出荷のピークとなり、その頃には生育も順調となる模様。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

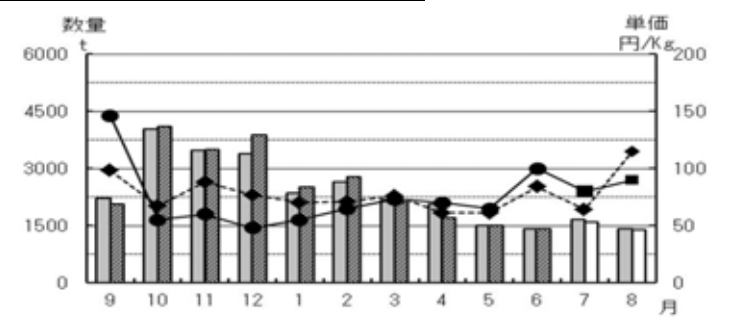
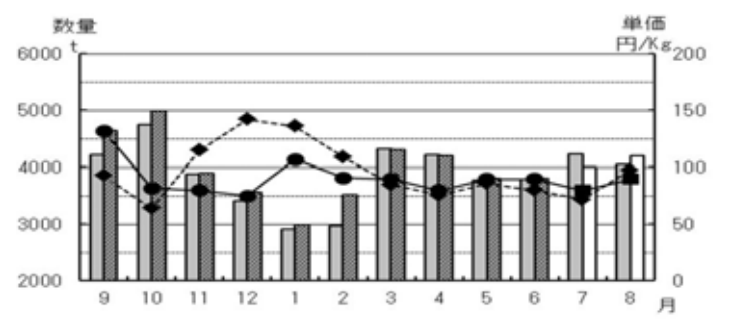
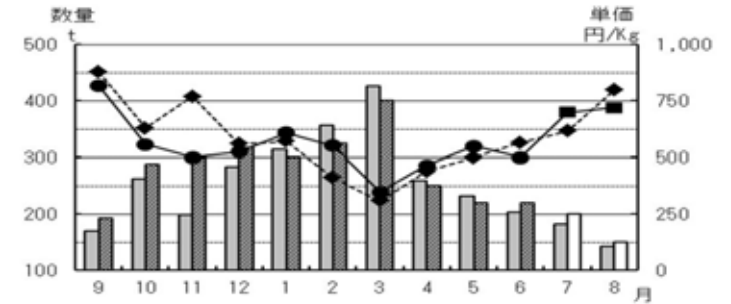
7月27日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	122,709	245	234	250	249	北海道 25%
	23年	126,666	219	218	211	226	群馬 15%
	24年	130,732	191	192	197	186	長野 13%
	25年	126,860	228	223	223	236	青森 7%
	26年	122,553	256	223	261	280	
	5ヵ年平均	125,904	227	-	-	-	
	27年見通し	123,000	250	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東高冷地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。にんじんやレタス、たまねぎなど産地や作型の切り替わり時期となり、生育は梅雨明け後の高温の影響で品目によってまちまちとなっている。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
だいこん	22年	9,162	100	79	106	114	北海道 70%
	23年	10,196	70	69	65	74	青森 25%
	24年	9,800	68	57	70	75	岩手 4%
	25年	9,335	92	74	102	101	
	26年	9,348	102	77	112	114	
	5ヵ年平均	9,568	86	71	90	95	
	27年見通し	9,400	100	80	100	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森、岩手からの入荷がほとんどを占める。北海道は一部で6月下旬からの低温干ばつの影響で生育が遅れ気味だが全体としては概ね良好。青森の生育は概ね良好でお盆明けに入荷ピークを迎える。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
にんじん	22年	5,488	206	203	200	213	北海道 86%
	23年	6,614	121	116	121	126	青森 11%
	24年	7,098	96	98	96	94	中国 2%
	25年	6,269	147	145	160	140	
	26年	6,875	114	116	113	113	
	5ヵ年平均	6,469	133	132	135	134	
	27年見通し	7,050	130	150	130	110	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷がほとんどを占める。産地の切り替わり時期にあたり、北海道はお盆頃から入荷ピークを迎え、生育は概ね良好。青森は前進傾向で高冷地物が8月下旬から出荷開始の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

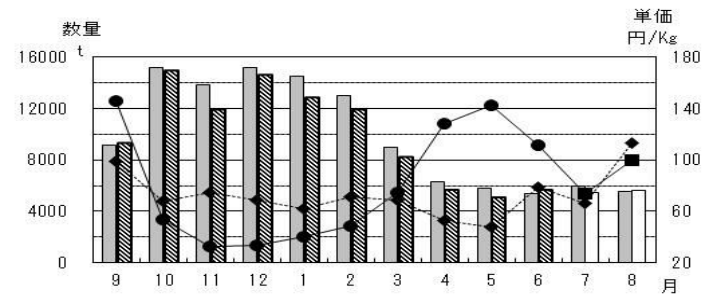
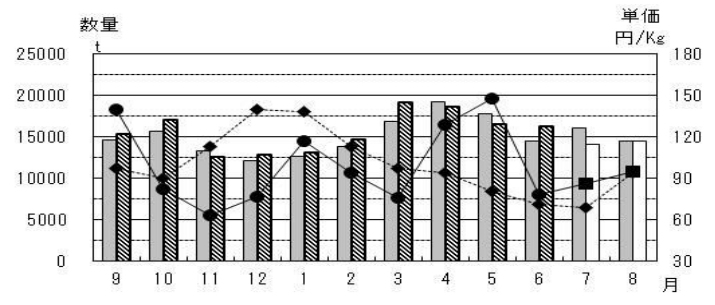
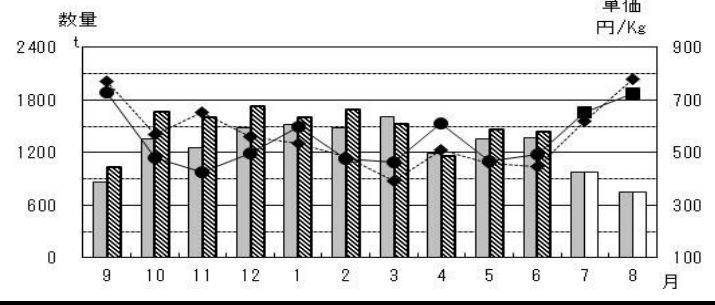
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	1,704	101	55	60	64	長野 96% 北海道 4%
	23年	2,062	55	55	60	64	
	24年	1,659	58	60	73	53	
	25年	1,335	100	96	113	108	
	26年	1,423	115	99	136	126	
	5ヵ年平均	1,637	83	70	84	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	1,400	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野が中心。 長野産は生育は順調ではあるが、生産調整をしており、産地の状況次第では、全体的出荷量に影響が出るおそれもある。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	3,903	89	94	88	86	群馬 62% 長野 19% 北海道 15%
	23年	4,323	62	59	53	78	
	24年	4,638	60	57	72	58	
	25年	4,252	83	76	84	94	
	26年	4,048	98	86	105	110	
	5ヵ年平均	4,233	78	74	80	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	4,200	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野、北海道が中心。 群馬、長野は7月上旬の雨の影響により生育が伸びず、8月から9月上旬にかけて数が少なめとなるおそれがある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	22年	184	783	815	765	775	岐阜 87% 長野 6% 静岡 2% 愛知 1%
	23年	217	633	640	545	723	
	24年	206	687	645	716	695	
	25年	184	658	546	656	797	
	26年	143	797	689	731	1,017	
	5ヵ年平均	187	704	664	676	787	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	150	720	640	750	780		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、岐阜の高山地方が中心で、一部長野の高冷地から入り、足りない場合は関東物の転送入荷が入る。 露地物のため台風、高温等の影響が懸念され、例年に比べると数は少なめとなる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	22年	5,891	94	70	96	113	長野 93%
	23年	6,482	56	52	55	61	北海道 4%
	24年	5,682	59	57	76	50	群馬 3%
	25年	5,816	101	93	107	103	
	26年	5,529	113	91	128	117	
	5ヵ年平均	5,880	84	72	91	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,600	100	90	100	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量と単価の推移グラフ。数量は9月～8月の月別データ、単価は9月～8月の月別データを示す。数量は概ね10,000t前後で推移し、単価は100円/kg前後で推移している。</p>			
<p>長野からの入荷が中心となる。長野の作付面積は前年並。生育は長雨の影響は特になかったが梅雨明け以降の高温干ばつで肥大は鈍い。一部で病害発生があり下旬にかけて入荷量がやや減少する模様。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
キャベツ	22年	15,243	88	91	88	84	群馬 79%
	23年	16,619	60	56	50	74	岩手 14%
	24年	15,491	54	48	67	51	長野 3%
	25年	15,333	80	71	81	89	北海道 2%
	26年	14,423	94	73	100	107	
	5ヵ年平均	15,422	75	67	76	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	14,500	95	95	95	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量と単価の推移グラフ。数量は9月～8月の月別データ、単価は9月～8月の月別データを示す。数量は概ね15,000t前後で推移し、単価は100円/kg前後で推移している。</p>			
<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は梅雨後の高温干ばつの影響で小玉傾向。岩手も干ばつの影響で玉伸びが鈍く、今後の天候次第。</p> <p>入荷量は少なかった前年並で、価格も前年並の見込み。</p>							
ほうれんそう	22年	674	840	779	899	839	栃木 30%
	23年	827	617	568	562	723	群馬 28%
	24年	800	613	561	668	619	茨城 13%
	25年	796	638	522	660	749	岩手 11%
	26年	754	778	661	712	970	
	5ヵ年平均	770	691	612	693	775	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	745	723	650	720	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量と単価の推移グラフ。数量は9月～8月の月別データ、単価は9月～8月の月別データを示す。数量は概ね700t前後で推移し、単価は700円/kg前後で推移している。</p>			
<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。主要産地の生育は概ね良好。群馬は雨除けハウスが中心で、高温のため株が細くなっている。岩手は干ばつで高温障害が散見され、お盆頃まで出荷は少ない見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	863	422	439	443	390	北海道 31%
	23年	791	353	320	358	404	愛知 14%
	24年	835	347	342	378	346	長野 10%
	25年	718	427	431	459	415	茨城 9%
	26年	718	421	384	490	413	
ぎ	5ヵ年平均	785	393	383	424	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	700	420	420	420	420	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知の長ねぎ、北海道の白ねぎが中心。 愛知は天候不良により、細物中心で数自体は少なくなる。北海道は逆に生育順調で、数の一定量は確保できる模様。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。					
し た す	22年	2,045	221	211	224	226	長野 99%
	23年	2,072	176	131	186	236	
	24年	2,429	126	135	135	131	
	25年	2,663	140	145	138	155	
	26年	2,519	217	176	195	294	
ス	5ヵ年平均	2,346	174	159	173	207	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,300	180	170	200	160	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地はほぼ長野で、高冷地が中心。 天候不良の影響により中旬ぐらまでは入荷量は少なくなるが、下旬には回復する見込みである。 全体的に玉は小さめ。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
き ゆ う り	22年	1,520	272	200	267	343	長野 51%
	23年	1,545	275	261	205	394	北海道 20%
	24年	1,570	227	216	218	252	山形 10%
	25年	1,423	295	241	229	421	岩手 5%
	26年	1,231	408	230	449	563	
り	5ヵ年平均	1,458	290	229	267	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,400	290	290	290	290	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野、北海道が中心。 気温が例年より低めのため、細物が多く、全体的に量は少なくなっている。今後の気温上昇次第では回復傾向であるので、盆明けぐらからは数も多くなる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった昨年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	4,172	285	281	333	252	茨城 39%
	23年	4,032	296	227	318	341	青森 18%
	24年	4,312	207	190	259	186	秋田 9%
	25年	4,187	322	322	397	279	北海道 9%
	26年	4,135	270	230	334	257	
ぎ	5カ年平均	4,168	275	250	328	262	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,000	300	350	300	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城と東北、北海道からの入荷が中心となる。茨城は梅雨に入ってから肥大が回復したがやや細め傾向。青森は降雨が少ないが生育は概ね良好でお盆明けに出荷が出揃う模様。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
し	22年	8,442	221	210	220	231	長野 85%
	23年	8,802	183	119	188	251	群馬 13%
	24年	9,774	120	123	123	115	
	25年	10,171	140	139	134	148	
	26年	8,784	194	181	198	320	
す	5カ年平均	9,195	169	153	170	209	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,100	180	200	180	160	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。長野は作型の切り替わりで8月からは順調出荷の見込み。群馬は梅雨明け後の高温の影響で品質低下がみられ、お盆頃から減少する見込み。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は下旬に高騰した前年をかなり下回る見込み。					
き	22年	8,052	252	186	253	308	福島 44%
	23年	8,254	231	202	157	353	岩手 21%
	24年	9,301	178	165	163	201	秋田 13%
	25年	8,008	264	217	184	396	山形 5%
	26年	7,157	391	194	451	559	
う	5カ年平均	8,154	258	192	234	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	7,500	280	270	270	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		福島、岩手など東北産地からの入荷が中心となる。福島は雨除けハウスが成り疲れて出荷量は減少傾向だが露地ものが本格出荷になってくる。岩手、秋田は干ばつの影響で生育遅れがみられるが今後の天候次第。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	1,210	235	257	253	211	愛知 29%
	23年	1,226	258	334	238	212	山梨 25%
	24年	1,151	182	201	178	175	徳島 13%
	25年	997	202	230	165	221	茨城 13%
	26年	840	329	275	364	358	
	5ヵ年平均	1,085	237	260	235	228	
す	27年見通し	850	300	300	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、山梨、徳島が中心。台風の影響が懸念される。また、作付面積も減少している。入荷量は前年並であり、価格はかなり下回る見込み。					
ト マ ト	22年	1,585	344	290	322	466	岐阜 59%
	23年	1,677	364	384	336	388	北海道 21%
	24年	1,773	287	291	250	320	愛知 9%
	25年	1,881	313	326	281	334	長野 5%
	26年	1,839	299	262	262	363	
	5ヵ年平均	1,751	320	310	289	371	
ト	27年見通し	1,800	300	300	280	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岐阜の高山地方、北海道が中心。安定的な作況が見込まれるため、順調である。しかし、今後日照不足が続くと、小玉傾向となることも予想される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。					
ミ ニ ト マ ト	22年	353	613	559	535	719	北海道 77%
	23年	370	705	719	699	709	長野 9%
	24年	451	428	493	348	453	愛知 6%
	25年	450	562	523	517	628	岩手 3%
	26年	457	511	482	453	589	
	5ヵ年平均	416	556	548	502	611	
ト	27年見通し	450	550	550	550	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心。気温が低く、着花が少なめではあるが、今後、気温が高くなれば回復する模様。入荷量は前年並であり、価格は前年をかなり上回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	5,451	219	245	219	181	栃木 29%
	23年	4,970	265	357	202	249	群馬 28%
	24年	5,522	173	185	180	157	茨城 25%
	25年	5,302	203	223	141	246	埼玉 7%
	26年	4,479	292	218	326	340	
	5ヵ年平均	5,145	227	245	210	230	
27年見通し	4,700	270	250	270	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。栃木は生育は概ね良好だが一部で虫害がみられる。群馬、茨城、埼玉は日照不足の影響で一時果実肥大が遅れたが梅雨明け後の気温上昇で生育回復を見込む。</p> <p>入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高騰した前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	8,832	336	287	306	410	青森 21%
	23年	9,145	356	402	293	390	福島 18%
	24年	11,413	245	232	222	274	北海道 18%
	25年	10,266	289	300	253	308	群馬 11%
	26年	9,833	264	239	233	320	
	5ヵ年平均	9,898	295	289	259	336	
27年見通し	10,000	300	300	310	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、福島、北海道、群馬からの入荷が中心となる。青森、北海道、群馬の生育は概ね良好で上旬にピークを迎える。福島は日照不足から着色遅延がみられたが回復傾向でL、Mサイズ中心になる模様。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,038	623	551	607	702	北海道 38%
	23年	1,074	707	718	729	677	青森 13%
	24年	1,512	425	441	351	465	岩手 13%
	25年	1,643	561	544	540	590	茨城 12%
	26年	1,702	552	509	524	619	
	5ヵ年平均	1,394	561	541	534	600	
27年見通し	1,700	560	550	570	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城に加え北海道、青森、岩手からの入荷が増えてくる。北海道は気温が上がらず着色遅れ気味で下旬ころから増量の見込み。茨城は抑制作型が上旬から出荷見込み。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	496	334	346	315	339	岩手 41%
	23年	525	291	442	291	255	北海道 40%
	24年	470	245	304	266	219	青森 9%
	25年	442	323	441	292	319	長野 6%
	26年	424	315	270	292	409	
マン	5カ年平均	471	301	363	291	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	420	320	300	300	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岩手、北海道、青森、長野が中心。青森は盆過ぎから出てくる。気温が低いいため生育の遅れが出ているため、北海道はMサイズが中心となっている。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。					
ばれいしょ	22年	2,431	136	120	134	149	北海道 70%
	23年	1,814	107	103	105	110	青森 24%
	24年	2,019	89	85	90	94	静岡 4%
	25年	1,974	177	215	193	149	茨城 1%
	26年	2,296	132	140	131	132	
いしょ	5カ年平均	2,107	129	133	131	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,100	170	200	170	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心。他、青森、静岡が続く。干ばつが続いており、生育が思わしくなく、M、Lサイズが中心の小玉傾向である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	22年	4,638	95	102	95	90	兵庫 46%
	23年	4,515	74	79	73	73	北海道 46%
	24年	3,430	122	134	132	112	愛知 3%
	25年	4,178	102	103	107	100	中国 2%
	26年	3,982	126	129	137	121	
ねぎ	5カ年平均	4,149	102	108	107	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,000	130	140	130	0	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫の淡路島、北海道が中心。北海道は盆過ぎくらい出てくる。淡路島は少ないものの、北海道は順調で、数も多くなる模様。 入荷量は前年並であり、価格は前年をやや上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	2,009	310	319	311	301	岩手 47%
	23年	2,090	245	354	218	176	茨城 21%
	24年	2,167	187	275	172	144	福島 13%
	25年	2,052	265	377	213	231	青森 12%
	26年	1,841	319	282	290	384	
マ	5カ年平均	2,032	263	322	239	243	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,900	310	350	310	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>岩手、福島など東北産地と茨城からの入荷が中心となる。主要産地の生育は干ばつの影響から回復傾向で概ね良好。福島はお盆頃から出荷ピークを迎える。茨城は抑制作型が7月中旬から出荷を開始した。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ばいしょ	22年	5,694	149	137	148	158	北海道 74%
	23年	5,566	107	93	105	119	茨城 8%
	24年	5,589	93	82	95	98	青森 7%
	25年	5,507	171	195	181	154	千葉 6%
	26年	6,413	131	131	130	130	
い	5カ年平均	5,754	130	128	132	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,400	130	140	130	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道を中心に茨城、青森、千葉からの入荷となる。北海道は播種が順調に進み生育は概ね良好で上旬から各産地出揃ってくる。青森は作付面積減で生育は前進傾向。茨城、千葉は出荷が早まる見込み。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
たまねぎ	22年	9,923	110	114	113	105	北海道 42%
	23年	9,792	82	84	84	79	兵庫 28%
	24年	8,450	130	141	130	123	佐賀 14%
	25年	9,797	112	115	115	109	中国 9%
	26年	10,162	132	131	135	130	
ね	5カ年平均	9,625	113	116	115	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,500	133	140	130	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道、兵庫、佐賀からの入荷が中心となる。北海道は播種が順調に進み生育は概ね良好でお盆頃からの出荷を見込む。兵庫は前進出荷で収穫が終了し前年を下回る出荷の見込み。佐賀も収穫終了し小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	11,902	346	340	358	343	フィリピン 20%
	23年	11,989	321	338	316	305	愛知 17%
	24年	11,605	342	357	328	341	長野 7%
	25年	11,231	351	369	331	353	山梨 7%
	26年	10,208	361	352	365	359	
	5カ年平均	11,387	344	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	10,000	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国産は、愛知、長野、山梨が中心。りんご、なし、もも、いちじく等は前倒しの出荷が想定される。天候が不安定で、様々な品種で生育の影響が懸念される。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
アールスメロン	22年	341	503	-	-	-	愛知 50%
	23年	340	500	-	-	-	静岡 31%
	24年	286	514	-	-	-	青森 10%
	25年	271	507	-	-	-	茨城 4%
	26年	248	537	-	-	-	
	5カ年平均	297	511	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	250	510	530	530	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡が中心。作付面積は減少傾向にあるが、入荷量は昨年ほどに落ち着く模様。しかし、日照不足のため、生育は良くなく小玉傾向となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
すいか	22年	2,594	174	177	161	187	長野 36%
	23年	2,688	130	148	137	103	山形 35%
	24年	2,790	151	161	153	149	秋田 13%
	25年	2,469	171	165	185	201	青森 10%
	26年	2,351	126	145	141	111	
	5カ年平均	2,578	151	159	155	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,300	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野、山形が中心。7月はすいかにとって良い天候となり、生育良好につき、大玉傾向。昨年は下級品が多かったため、引き合いが弱かったが、今年はある程度回復する見込み。 入荷量はわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	22年	41,208	342	322	355	354	山形 19%
	23年	44,246	298	319	294	275	山梨 11%
	24年	41,317	337	336	337	338	福島 10%
	25年	41,184	339	354	328	330	フィリピン 6%
	26年	40,624	348	334	365	348	
	5カ年平均 と7年見通し	41,716 39,600	332 360	- -	- -	- -	- -
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>桃、すもも、すいかなどに加えて日本なし、ぶどうなど露地物の入荷が始まる。桃、すももなどは生育前進により7月の入荷量が多かったため、8月は品薄が懸念される。需要面では天候が悪かった前年より引き合いは強い。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格はやや上回る見込み。</p>							
ア ー ル ス メ ロ ン	22年	775	450	438	530	399	静岡 47%
	23年	706	483	531	464	415	茨城 28%
	24年	633	502	472	658	460	青森 18%
	25年	682	501	505	589	453	山形 6%
	26年	632	540	518	666	462	
	5カ年平均 と7年見通し	686 600	493 570	492 540	577 700	436 490	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>静岡、茨城中心に入荷する。静岡は、8月出荷分の作付面積減により前年比90%程度の出荷となる見込み。茨城は、上旬にピークを迎え、2玉箱中心の出荷となる見込み。ホテル、スイーツ需要が活発で引き合い強い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
す い か	22年	10,709	178	169	175	211	山形 47%
	23年	10,589	137	140	143	117	長野 15%
	24年	11,830	155	157	147	158	秋田 12%
	25年	9,270	174	157	182	210	青森 8%
	26年	11,171	137	140	141	124	
	5カ年平均 と7年見通し	10,714 10,600	156 160	152 160	157 170	162 145	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>山形を中心に長野などから入荷する。山形は天候もよく生育は前進傾向で上旬がピークとなる。長野は生育順調で高品質。残暑が厳しいことが想定され、引き合いは強い。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	22年	2,821	60	
		23年	3,003	51	
		24年	2,375	65	
		25年	2,289	56	
2年		2,163	60		
	5ヶ年平均	2,530	58		
	27年見通し	2,200	60		
	概要	愛知、長野、三重から入荷。前進傾向にあったが、高温抑制が掛かり、大きな山なく推移しそう。黄菊は生産減に加え、長野県で一部前進しているところもあり、盆時期にはあまり多くない。			
小 ぎ	実績	22年	2,989	40	
		23年	3,309	31	
		24年	2,602	35	
		25年	2,696	31	
26年		2,082	37		
	5ヶ年平均	2,736	35		
	27年見通し	2,200	35		
	概要	愛知、長野、岩手、奈良から入荷。春先からの天候不順により産地の出荷は前進、順調とバラツキがある。盆商戦で前半は堅調な動きとなる。盆明けも多くないと思われるので、大きな落ち込みもなく、落ち着いた動きとなろう。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	22年	1,294	43	
		23年	1,375	40	
		24年	1,411	38	
		25年	1,167	46	
26年		1,185	48		
	5ヶ年平均	1,286	43		
	27年見通し	1,200	45		
	概要	長野を中心に北海道等から入荷。今年も昨年同様に長野の各産地が一番花の集中をずらす作型を取っている。例年海の日付近がピークとなるが、曇天や台風等の影響もあり、だらだらとした出荷が目立ち、相場も安定している。若干後ろにずれ、8月盆は安定供給、安定単価で推移しそう。			
か す み 草	実績	22年	66	110	
		23年	73	115	
		24年	118	85	
		25年	103	121	
26年		104	130		
	5ヶ年平均	93	111		
	27年見通し	100	120		
	概要	長野、福島、北海道からの入荷。入荷は少ないが、盆までの販売は苦しい。月末には価格は戻ってくる。気温が高く、品質には注意が必要。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	22年	514	149	
		23年	546	149	
		24年	549	137	
		25年	433	159	
		26年	401	166	
	5ヶ年平均		489	151	
	27年見通し		450	150	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道から入荷。7月の出荷数量が少なく、8月前半の数量は多そう。LAは生育順調。新潟、埼玉から入荷し、盆後半から動きが良くなる。鉄砲はやや遅れ気味も入荷は順調。愛媛、兵庫中心に入荷し、8月3日から動く。全体的にはユリ系の販売は苦しいと思われる。</p>				
洋 ら ん	実績	22年	489	77	
		23年	484	83	
		24年	464	88	
		25年	484	83	
		26年	402	108	
	5ヶ年平均		465	87	
	27年見通し		420	90	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等から入荷。気温が高いため、品質によって価格差が大きくなるだろう。葬儀需要に若干の不安定な物があるため、微妙な市況展開となりそう。</p>				
ば ら	実績	22年	686	51	
		23年	696	54	
		24年	736	50	
		25年	623	54	
		26年	428	102	
	5ヶ年平均		634	59	
	27年見通し		500	60	
概要	<p>青森、長野、愛知、岐阜、和歌山からの入荷。夜冷、ミスト等の効果も表れる。お盆明けからは三重産も株休めが明け、出荷が再開する。</p>				
枝 も の	実績	22年	2,039	61	
		23年	2,440	57	
		24年	2,265	57	
		25年	2,073	55	
		26年	1,949	61	
	5ヶ年平均		2,153	58	
	27年見通し		1,950	60	
概要	<p>福岡、長野、静岡からお盆商材の法月が入荷。天候次第では非常に引合いは強くなりそう。前半は、商材により差が大きな動きとなる。後半は盆商戦疲れで全般に低調ぎみと思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	22年	11,418	1,331	
		23年	17,425	908	
		24年	14,987	913	
		25年	14,493	989	
		26年	13,836	943	
	5ヶ年平均		14,432	999	
	27年見通し		13,000	930	
概要	<p>入荷量は全体的に昨年より減少の見込み。 お中元需要も終わり、大きいサイズ(尺~8寸、7寸)は単価が厳しくなる予想。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(99.0%)、2位岐阜県(0.2%)、3位静岡県(0.2%)となっている。</p>				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	22年	8,456	345	
		23年	7,665	353	
		24年	9,362	317	
		25年	7,746	334	
		26年	7,616	342	
	5ヶ年平均		8,169	337	
	27年見通し		7,500	350	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。全国的に生産量が減少している影響により5号以下の規格は引き合いが強くなるだろう。良品確保の為に早めの注文をお願いしたい。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(87.3%)、2位愛知県(12.7%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	22年	4,575	124	
		23年	4,831	117	
		24年	5,883	145	
		25年	6,156	100	
		26年	4,430	109	
	5ヶ年平均		5,175	119	
	27年見通し		4,000	110	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。温度が高くなり、花の色、形もなかなか良い状態で出荷することが難しくなる。店頭では見栄えも落ち、取引、販売も苦戦が予想される。 少しでも花色を増やし、販売促進に役立てていただきたい。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛媛県(53.4%)、2位岐阜県(37.8%)、3位愛知県(8.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジユ	実績	22年	3,607	842	
		23年	3,400	800	
		24年	3,263	813	
		25年	3,000	800	
		26年	2,833	781	
		5ヶ年平均	3,221	809	
	27年見通し	2,700	790		
概要	<p>入荷量は減少か。昨年より作付けが減った為に数量的には減少の見込み。8月下旬頃より出荷が多くなると思うので早めの出荷をお願いしたい。また開花も早い時期なのでツボミ多目での出荷を強く希望する。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(48.0%)、2位長崎県(20.1%)、3位広島県(11.8%)となっている。</p>				
スパティ	実績	22年	7,156	268	
		23年	7,081	235	
		24年	10,885	185	
		25年	8,796	201	
		26年	8,066	184	
		5ヶ年平均	8,397	211	
	27年見通し	8,100	190		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5号～6号は堅調に動いている。逆に3号～4号の動きは鈍い。清涼感のある花なので7月～8月の動きに期待していきたい。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重県(68.8%)、2位愛知県(18.6%)、3位岐阜県(8.4%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	22年	19,019	650	
		23年	24,649	603	
		24年	24,660	675	
		25年	20,531	725	
		26年	15,599	915	
		5ヶ年平均	20,892	699	
	27年見通し	15,500	850		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。定番のマッサン、ユッカ、ジェレ、パキラ、コンシが入荷のメインで7号～8号が中心となる。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(74.3%)、2位鹿児島県(8.9%)、3位静岡県(6.1%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	71,359	105.1	7,683,860	105.2	108	100.1	360,352	110	41,225,701	94	114	86
トマト	496	84.8	190,104	80.6	383	95.0	2,577	99	978,212	94	380	95
たまねぎ	27,825	101.5	1,415,372	119.2	51	117.4	129,224	81	6,663,093	78	52	96
にんにく	1,679	99.8	364,759	132.1	217	132.4	8,313	111	1,746,104	143	210	129
ねぎ	4,472	104.6	467,966	114.3	105	109.3	22,515	96	2,475,381	95	110	99
ブロッコリー	2,294	58.9	588,081	74.0	256	125.6	8,421	56	2,167,552	74	257	132
結球キャベツ	3,626	148.5	165,545	183.3	46	123.4	13,451	55	597,406	58	44	106
にんじん・かぶ	6,520	120.1	267,862	93.9	41	78.2	27,129	83	1,313,655	70	48	84
ごぼう	2,733	78.5	165,027	61.4	60	78.2	15,153	80	892,130	52	59	64
えんどう	106	83.5	42,285	111.5	399	133.5	477	119	195,488	143	410	120
アスパラガス	267	46.5	255,236	62.1	956	133.5	4,603	64	3,570,323	89	776	140
まつたけ	-	-	-	-	-	-	0.1	-	463	-	3,215	-
しいたけ	76	87.4	35,865	97.7	472	111.9	1,111	83	419,053	83	377	99
かぼちゃ	13,172	121.9	1,430,706	132.0	109	108.3	78,688	103	7,005,882	116	89	113
果実(生鮮・乾燥)	156,157	93.9	35,937,100	119.2	230	126.8	691,082	99	133,579,466	116	193	117
バナナ	89,262	91.4	9,771,546	106.9	109	116.9	391,566	99	38,662,453	113	99	114
パイナップル	11,183	70.7	954,083	83.1	85	117.5	61,319	94	5,036,300	108	82	115
レモン	3,008	69.8	770,993	84.6	256	121.3	18,768	104	4,880,957	133	260	128
オレンジ	5,022	93.4	814,176	104.8	162	112.1	33,468	100	5,537,173	105	165	106
グレープフルーツ	2,841	68.2	434,839	93.5	153	137.0	42,167	91	6,316,712	107	150	117
メロン	3,177	64.5	346,616	66.7	109	103.4	12,810	76	1,449,857	81	113	106
ぶどう	6,370	217.7	1,944,016	318.6	305	146.4	27,544	250	8,473,753	338	308	135
キウイ	16,355	142.9	5,784,310	132.6	354	92.8	28,130	117	9,886,752	111	351	95
いちご	56	215.4	59,312	228.2	1,059	106.0	70	188	75,784	192	1,079	102
切花(生鮮・乾燥)	2,404	91.5	2,433,825	89.9	1,012	98.2	16,074	95	15,334,481	103	954	108
鳥獣肉類	158,288	96.5	84,831,962	101.5	536	105.2	768,971	102	423,668,377	114	551	112
牛肉(くず肉含む)	42,339	103.2	28,625,799	125.7	676	121.8	204,084	107	146,171,128	142	716	133
豚肉(くず肉含む)	69,055	95.3	36,678,862	89.6	531	94.1	315,613	93	172,201,829	94	546	101
鶏肉	36,916	93.1	10,879,793	96.7	295	103.8	201,918	113	62,629,206	126	310	111
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	139,564	91.5	90,068,301	95.6	645	104.5	680,793	101	458,014,872	103	673	102
まぐろ類	12,924	76.6	14,554,712	109.0	1,126	142.3	84,404	98	90,352,098	113	1,070	115
さば・さんま・あじ・いわし	4,118	138.2	894,052	113.8	217	82.3	40,998	118	9,065,976	115	221	97

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	523	170.9	309,343	168.7	591	98.7	14,434	170	6,282,333	174	435	103
うんしゅうみかん	8	73.7	9,036	61.3	1,114	83.1	266	102	144,982	93	545	91
りんご	462	209.0	197,437	229.6	427	109.8	13,520	172	5,138,400	174	380	101
なし	-	-	-	-	-	-	60	728	30,966	709	516	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	301,474	108.5	-	-	-	-	1,584,061	128	-	-
緑茶	319	101.9	824,366	113.2	2,584	111.1	1,512	112	3,658,310	118	2,420	106

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	27年 2月	102.9	102.3	121.2	110.8	116.4
	3月	103.3	102.3	121.4	111.2	115.4
	4月	103.7	112.3	118.9	111.8	115.5
	5月	104.0	114.8	127.6	111.8	114.9
愛 知 県	24年平均	99.5	95.9	102.9	98.6	101.4
	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	27年 2月	102.7	104.6	128.0	113.1	116.0
	3月	103.3	105.4	123.5	112.6	115.4
	4月	103.9	116.3	123.4	113.4	115.1
	5月	104.1	117.9	134.8	113.4	113.7

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	27年 2月	109.3	83.5	118.0	121.1	122.7
	3月	110.6	83.5	120.4	114.5	124.4
	4月	112.7	83.0	121.6	124.9	124.1
	5月	111.6	83.1	118.9	128.1	124.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均	2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
27年 2月	1,836	172	141	582	531	333	150	296	245	666	671	194	488
3月	1,847	156	188	588	547	334	155	317	253	614	741	184	482
4月	1,847	206	273	639	628	398	205	364	250	754	700	162	528
5月	1,818	353	368	722	461	442	197	363	254	510	697	163	630
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
27年 2月	691	479	497	191	253	881	535	170	177	360	226	925	495
3月	682	391	497	174	256	886	537	185	183	358	215	916	449
4月	-	398	464	165	261	930	516	174	177	359	219	912	447
5月	-	428	473	178	261	898	526	196	180	350	216	882	423

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 506
平成27年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421